

なかぼつ 〇 定着支援

豊後観光開発株式会社
三重カントリークラブ

〒879-7102
豊後大野市三重町菅生552番地
TEL.0974-22-3030



おおいだの なかぼつ

なかぼつ 〇 現場

社会福祉法人 紫雲会
障がい者就業・生活支援センター

つばさ

〒679-7141
豊後大野市三重町秋葉241番地
TEL.0974-22-0313



なかぼつとは？

正式名称は「障害者就業・生活支援センター」ですが、名称が長いので「なかぼつ」と呼んでいます。なかぼつでは、障がい者の職業生活における自立を図るため、雇用、福祉等の関係機関との連携のもと、就業面及び生活面における一体的な支援を行っています。県内には6箇所設置されています。

地域に根ざし、心ある誠実な支援を

豊肥圏域(竹田市、豊後大野市)を管轄するつばさの母体は1969年に設立された社会福祉法人紫雲会。つばさ以外にも、障がい者支援施設や就労継続支援B型事業所、グループホームなどを運営しており、地域にとどまらず



▲主任就業支援員 衛藤啓史さん

はならない福祉拠点として認知されています。

そんなつばさの特徴は、地域性を活かしたきめ細やかな支援。豊肥はいい意味で人と人との距離が近い地域。支援に関して、相談から始まり、生活面の改善や就職サポート、就職後のフォローと長期間にわたることが多いです。適正な価格をしっかりと把握した上で企業とマッチングできるのも強みだと思います。そう話すのは主任就業支援員の衛藤さん。生活面(食事、健康、金銭管理など)の乱れは一般就労における不安要素の一つ。生活支援を行い、改善、安定させることで就職後の定着率も向上するといいます。



▲左から就業支援員の後藤美緒さん、生活支援員の渡辺恵子さん、雇用アドバイザーの宮成清希さん。

また、つばさは、障がい者の職場実習を受け入れてくれる企業、障がい者雇用を検討する企業の開拓にも積極的に取り組んでいます。「私たちは障がい者のご希望、企業の想い、両方を尊重しながらマッチングを行います。まずは企業の方に、相談や職場実習を通して、障がい者を知ることから始めてもらえると嬉しいですね。能力の高い人も多いので、きつこイメージが変わると思います。地域が抱える高齢化(障がい者の親亡き後の支援)、過疎化(受け入れ企業への不足)など様々な問題と向き合いながら、一人でも多くの幸せを願い、奔走する職員の方々がいます。心ある支援は、障がい者の人生、企業の新たな可能性を拓く一助になるに違いありません。

なかぼつと連携し、スムーズに雇用、定着

広大な敷地を持つゴルフ場、三重カントリークラブ。20年ほど前から障がい者雇用に取り組んでおり、現在は2名の障がい者が働いています。「発達障がいの人を受け入れたのは、6年前につばささんから紹介された佐藤さんが初めて。不安もありましたが、つばさんが適正を見極めた上でマッチングしてくれたので実習、就職と順調に進みました(支配人の高橋さん)。」とてもしっかりとしていたので、迎え入れるにあたり特別なことはしていません。強いていえば「何かあればすぐに所属長、所属長がいなければ支配人が私に連絡する」というルールを作ったくらいですね(企画管理課長の麻生さん)。雇用後もつばさの定期的な訪問支援を通じて、障がいに対する理解を深めていったといいます。

障がい者は貴重な戦力

佐藤さんと、一昨年に支援学校から入社した藤田さんが担当するのはコース整備。草刈り機やバンカーをならすレーキを器用に操り、健常者と同じ業務を精力的にこなしています。「障がい



▲6年目の佐藤さんは主要な機械をほぼ乗りこなせるように。

特性や、得手不得手に合わせた配慮は行いますが、特別扱いはいしません。心掛けているのは分かりやすい言葉使いと話しやすい雰囲気作り。危険を伴う機械の操作も順を追って話せばきちんと理解してくれますし、今や必要不可欠な戦力です。「コース管理課長の若杉さん。対応に悩んだり、不測の事態が発生した際は、つばさの支援員や支援学校の先生がしっかりとサポートしてくれるので、トラブルにつながることはほとんどないといえます。近々もう1名障がい者を雇用する予定だという三重カントリークラブ。人手不足の業界でもあり、障がい者の持つ力、可能性に大きな期待を寄せています。

佐藤さん(左ページ参照)の相談から就職までの流れ

相談

障がい者手帳は取得していないが、「なかなか仕事がつかない」という佐藤さんが来所。アドバイスをもらう。

障者者手帳を取得

今後の就職や生活の取得を助める。病院で検査を受けた結果、発達障がいであることが判明。

生活支援(現在も継続)

一人暮らしのため、部屋の片付け、食事、健康面などをサポート。金銭面に関しては豊後大野市社会福祉協議会の支援サービス「あんさんサポート」を紹介。

就労移行支援事業所を利用

紫雲会が運営する就労移行支援事業所(現在は閉所)にて一般企業で働くための訓練を行う。障害年金の受給もサポート。

企業とマッチング、就職

佐藤さんの特性、希望、通勤手段などを考慮した上で、三重カントリークラブを紹介。実習を経て、就職。

就職後も支援

最初は1ヶ月に1度、佐藤さんが安定してから数ヶ月に1度、職場を訪問して面談、支援。



佐藤 正夫さん
入社:6年、発達障がい

広いコース内の業務を覚えるのが大変でしたが、今はすっかり慣れました。いろんな機械に乗れるのも楽しいです。お金を貯めて車を買うなど目標も一つずつ達成しています。体調管理に気をつけながら定年まで頑張りたいと思っています。

藤田 勇希さん
入社:1年、知的障がい

体を動かすことが好きなので、今の仕事は自分にぴったり。まだ1年ですが、先輩に色々教わりながら体調管理、ケガに気をつけて頑張っています。佐藤さんも頼れる先輩です。今後は乗れる機械を増やし、仕事の幅を広げていきたいと思っています。